

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

## みどり乳児園

横浜市青葉区青葉台 1-29-15

運営主体: 特定非営利活動法人 みどり乳児園

● 実施概要	1 ページ
● 総合評価 (評価結果についての講評)	2～3 ページ
● 評価領域ごとの特記事項	4～7 ページ
● 分類・項目別評価結果	8～19 ページ
● 利用者家族アンケート分析・集計結果	20～27 ページ
● 利用者本人調査分析	28～30 ページ
● 事業者コメント	31 ページ

公表日: 2018 年 4 月 3 日

実施機関: 特定非営利活動法人市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	みどり乳児園（保育所）		
報告書提出日	2018年3月2日	評価に要した期間	11ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

### ■評価方法

<b>1、自己評価</b> 実施期間 2017年10月13日～2017年12月21日	① 職員に主旨を説明し、全職員（非常勤職員含む）が、各自自己評価票に記入した。 ② 常勤保育士が2グループに分かれ、各自の自己評価に基づき、意見を出し合った。 ③ 非常勤保育士および給食部門職員の自己評価を集計し、常勤保育士グループと異なる意見があれば、見解を詳しく聞き取った。 ④ ②および③の結果を、園長が最終的に取りまとめた。
<b>2、利用者家族アンケート調査</b> 実施期間 2017年11月27日～2017年12月8日	① 全園児の保護者（46世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。 ② 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。
<b>3、訪問実地調査</b> 実施日：第1日 2018年1月11日 第2日 2018年1月16日	[第1日] ① 午前：各クラスで保育観察。 ② 昼食：幼児クラス・乳児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 ① 午後：各クラス担任保育士5名、非常勤職員1名に個別に面接調査。 その後、書類調査。 [第2日] ① 午前：各クラスで保育観察。 ② 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 ③ 午後：栄養士1名に個別に面接調査、その後、園長・主任に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。
<b>4、利用者本人調査</b> 実施日：第1日 2018年1月11日 第2日 2018年1月16日	① 観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。 ② 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

みどり乳児園は、東急田園都市線「青葉台」駅から、徒歩約10分、商店街のはずれの広い道路に面しています。昭和53年（1978年）、託児所として開設されたのが始まりで、平成9年（1997年）4月に横浜市認定横浜保育室、平成16年（2004年）4月に認可保育園となりました。特定非営利活動法人みどり乳児園が運営しています。

園舎は、鉄筋コンクリート造2階建てで、1階に4・5歳児保育室、2階に0から3歳児保育室（4室）、遊戯室（ホール）、調理室、事務室などがあります。2階保育室の外側に園庭があるほか、屋上園庭もあります。

定員は50名（産休明け～就学前）で、0～3歳児は年齢ごとのクラス編成ですが、4・5歳児は異年齢児合同の1クラスとなっています。開園時間は、平日7時～20時、土曜日7時30分～18時35分です。

保育理念は「人生でもっとも大切な乳幼児期を健康で幸せに過ごせる園＝私は愛されていると子どもたち皆が感じられる保育園にします。一人ひとりの個性、特性を認め心に寄り添った保育を実施します。生きる力を育みながら成長していける保育を目指します。」です。理念に基づき、保育方針を「一人ひとりの子どもの心に寄り添う保育」としています。保育目標は「1. 丈夫な身体 2. やさしい心 3. チャレンジする力」です。

### ◆ 高く評価できる点

#### 1、子どもたちは、元気に遊びながら、自分で考えて行動する大切さを学んでいます

子どもたちが思いっきり身体を動かして遊ぶ時間が十分に確保されています。室内では、リトミックを行ったり、音楽に合わせて踊ったり、ピクニックごっこ遊びで歩き回ったりしています。晴れた日は、園庭・屋上園庭や近隣の公園に出かけて遊んでいます。鬼ごっこで走り回ったり、すべり台や鉄棒に挑戦しています。公園の池に張った氷を保育士にとってもらい、冷たい感触を楽しんだり、キラキラと光るのをじっと見たりしています。また、3歳児以上のクラスでは、外部の専門講師による体操教室が開かれ、跳び箱・マット・鉄棒・平均台などを使った運動や、ボール投げ、長縄跳びなどが行われています。

室内活動では、子どもたちが自由に遊びこめる時間が十分に確保されています。絵本を読んだり、塗り絵をしたり、画用紙を丸めて筒を作ったり、自分の好きなことに熱中しています。一斉活動の中で、4・5歳児クラスでは、週1回、外部の専門講師による英語教室が開かれ、子どもたちは英語に親しんでいます。また、異年齢の子ども同士が関わりを持つことができるように配慮しています。異年齢のクラスと一緒に散歩に出かけることが、日常行われているほか、毎月、全園児が参加する誕生会が開かれています。その月の誕生日の子どもがみんなの前で園長から紹介され、好きなことや最近できるようになったことなども伝えられています。また、午睡前に5歳児クラスの子どもが、2・3歳児クラスの布団敷きの手伝いをしたり、0・1歳児クラスの子どもが安心して眠りにつけるようにトントンしてあげる姿も見られます。さらに、地域の高齢者グループの人が来園し、4・5歳児クラスを対象として、昔ばなしなどの読み聞かせをしてくれたり、近隣の4保育園の5歳児クラスとの計画的な交流などもあります。

友達との触れ合いなどの中で、自分で考えることの大切さを子どもたちは学んでいます。

#### 2、職員間で情報を共有し、一人一人の子どもに寄り添った保育となるよう努めています

職員会議を毎週開き、各クラスの保育の様子や今後の予定などが報告されています。その中で、子どもたち一人一人の様子や状況も報告されています。そのため、異年齢児クラス合同で散歩に行くときや、全園児が集まる誕生会の際などに、職員はクラスに関係なく、一人一人の子どもに適切な声かけや対応をしています。誕生児には、全職員からのメッセージが入った手作りの誕生日カードを渡しています。

また、年度末には、クラスごとに1年間の活動をまとめた思い出のアルバムを手作りして配布するほ

か、卒園児には手作りの卒園証「よいこの証」を渡すなど、一人一人の子どもに園生活の思い出が残るようにしています。

### 3、保護者との良好な関係が築かれています

保護者会「みどりの仲間」が結成されています。年一回、保護者会主催でファミリー祭（バザー）を行っているほか、園主催の夕涼み会や運動会などの準備や運営に保護者会も協力しています。また、保護者会で絵本を購入し、「みどりの仲間文庫」として管理、各家庭に貸し出すことや、毎月行われる誕生会の様子を職員がビデオに撮影し、保護者会の委員が編集しています。12月のクリスマス会はビデオ撮影から編集まで保護者会の委員が行っています。年末には、「みどりのなかま」という文集を保護者会で発行しています。さらに、園長は、保護者会役員と頻繁に情報交換・意見交換をしています。「子どもたちを真ん中に、保護者と園が手を携えて子どもたちの成長を支えていく」という園の方針のもと、保護者との良好な関係が築かれています。

#### ◆ さらなる改善や工夫が期待される点

##### 1、地域の子育て支援サービスを充実させることが期待されます

子育て支援として、一時保育と交流保育を行っていますが、定期的な育児相談や園庭開放、地域住民に向けての子育てや育児に関する講習・研修会は行っていません。子育て支援サービスへのニーズがあることは、園として把握していますので、「いつまでに」「どのようなことを行うか」を中期計画の中に組み込むなど、目標を決めて取り組むことが期待されます。

##### 2、非常勤職員に対する研修を工夫することが期待されます

非常勤職員に対して、横浜市や青葉区などが行う研修案内などを配布したり、園内研修開催日時の通知をしたりしていますが、園内研修・外部研修とも参加する非常勤職員は、ほとんどいないのが現状です。非常勤職員が園内研修や外部研修に参加できる体制を構築することが期待されます。

## 評価領域ごとの特記事項

※このページは、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って記載しています。

### 1、人権の尊重

- ・保育理念は、「人生でもっとも大切な乳幼児期を健康で幸せに過ごせる園＝私は愛されていると子どもたち皆が感じられる保育園にします。一人ひとりの個性、特性を認め心に寄り添った保育を実践します。生きる力を育みながら成長していける保育を目指します。」です。保育方針は「一人ひとりのこどもの心に寄り添う保育」、保育目標は「1. 丈夫な身体 2. やさしい心 3. チャレンジする力」です。
- ・個人情報の取り扱いや守秘義務について、入職時に職員に伝えています。写真撮影のルールなどは、職員会議などで都度周知しています。

### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・保育課程は、保育理念・保育方針・保育目標を踏まえ、子どもの最善の利益を第一義にし、作成しています。年度初めのクラス懇談会で、保育課程及び年間指導計画を保護者に配付しています。
- ・保育課程に基づき、年齢ごとに、年間指導計画・年間指導計画・週案を作成しています。
- ・入園説明会の後、保護者と個別面談しています。
- ・2～5歳児クラスは、食事を2階の遊戯室（ホール）で摂っています。また、遊戯室（ホール）は、誕生会やクリスマス会（発表会）など、異年齢児間交流の場ともなっています。
- ・乳児は、毎月個別指導計画を作成しています。幼児は、特に配慮や支援が必要な子どもについて、個別指導計画を作成しています。
- ・全てのクラスで絵本棚を設置し、子どもが自分で取り出していつでも見ることができるようにしています。
- ・自由遊びの中で一人一人が興味・関心を持って遊べるように援助しています。例えば、公園の池に氷が張っているのを見に行き、保育士が子どもたち一人一人に氷の一片を渡すと、子どもたちは手で触ったり、大きさを比べたり、足で踏んで音を楽しむなどしていました。
- ・ナスやピーマン、トマト、キュウリ、オクラなどの夏野菜を栽培しています。調理してもらい、採れたての野菜のおいしさを味わうことができるようにしています。また、カエルを数年飼育しており、子どもたちはみんなで一緒に餌となる虫を探しています。季節に応じてカブトムシやクワガタも飼育しています。
- ・子どもの年齢や発達状況にあわせて自由に表現ができるよう、リトミックや歌、製作などを行っています。リトミックは全クラスで行っていて、クラス別の時と他クラスと合同の時があり、身体全体を使って自由に表現できるようにしています。
- ・4、5歳児クラスでは、週1回、外部の専門講師を招き、英語教室を行っています。
- ・異年齢の子ども同士が関わりを持てるように、異年齢のクラス合同で散歩に行く機会を多くしています。また、月1回、全園児が集まる誕生会を行っています。
- ・3歳児クラスから外部の専門講師による体操教室があり、跳び箱やマット運動、鉄棒、平均台、組み体操、長縄飛び、ボール遊びなどを子どもたちは楽しんで行っています。
- ・今年度の食育目標を「みんなでたのしくいっしょにたべる」として、クラスの年間指導計画に食育の項目を設けています。2歳児クラス以上では、園で採れた夏野菜を子どもたちが調理しています。5歳児クラスは「食育の時間」があり、食事のマナーや旬の食材、食べ物と身体などのテーマで、実施しています。
- ・乳幼児突然死症候群の対策として、0歳児クラスでは5分おきに、満2歳までは10分おきに呼吸チェックを行い、記録しています。
- ・子どもが排尿時に濡れた感覚が分かるように、布オムツを使用しています。
- ・連絡帳「いくじにっし」を用いて保護者と情報交換をしています。0歳児クラスでは、定型のフォーマ

ットに基づいた内容を書き入れ、家庭と保育の連続性を意識したものになっています。1歳児クラス以上でも、全員が、連絡帳「いくじにっし」を用いて、家庭と園の子どもの様子を毎日丁寧に共有しています。

- ・園日より、クラス日より、給食日より、献立表を毎月発行しています。園日よりには、園全体のお知らせのほか、その月に誕生日を迎える子どもたちの成長の様子も掲載しています。クラス日よりは手書きで、クラスの様子や子どもの個々の様子、行事のお知らせなどを掲載しています。
- ・保育参観を年1回実施しています。また、保護者の要望に応じて、保育参加を随時受け入れています。
- ・行事や季節ごとの子どもの活動の写真を玄関前の階段に掲示し、最新の情報が保護者に伝わるようにしています。誕生日会や運動会をビデオに撮って、希望者に貸し出せるように保護者会の協力を得ています。
- ・「みどりの仲間」という保護者会があり、積極的に活動しています。役員や図書委員、ビデオ委員、ファミリー祭実行委員で役割を分担し、組織的な活動となっています。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・子どもの発達や状況に応じて、月間指導計画・週案をクラスごとに作成・評価・見直しを行っています。
- ・年度末には、クラスごとに1年間の活動をまとめた文集「みどりの仲間」や思い出のアルバムを手作りして配布するほか、卒園児には手作りの卒園証「よいこの証」を渡すなど、一人一人の子どもに園生活の思い出が残るようにしています。
- ・特に配慮や支援を要する子どもについて、職員会議で話し合い、記録しています。
- ・職員は、特に配慮を要する子どもや障がいのある子どもの保育に関する研修に参加しています。参加した職員は、研修報告書を作成、職員会議で発表し、全職員が情報を共有できるようにしています。
- ・食物アレルギー対応マニュアルを定め、必要な知識や情報を全職員に周知しています。除去食を提供する場合は、専用トレイを用い、名札を付け、ラップで覆っています。乳製品アレルギー児の場合は、ほかの子どもたちとは別のテーブル席で摂るようにしています。
- ・保育室内に世界地図を掲示したり、地球儀を置いたりするとともに、絵本読み聞かせやお話の中で、さまざま国や地域があることを子どもたちが知る機会をつくっています。
- ・苦情解決のための規定を定めています。苦情受付担当者は主任、苦情解決責任者は園長であることや、第三者委員に直接苦情を申し立てできることを、重要事項説明書に記載し、保護者に周知しています。
- ・園の玄関に意見箱を設置しています。また、クラス懇談会や保護者会「みどりの仲間」の役員会や運営委員会（保護者代表も参加）でも要望や苦情を聞いています。行事後には、アンケートを行っています。
- ・外部の権利擁護機関があることを保護者に知らせていません。青葉区福祉保健センターや横浜市福祉調整委員会などに、直接苦情申し立てできることを、重要事項説明書に記載するなどの工夫が望まれます。
- ・「登降園確認表」を用いて、登園前と保育中の子どもの健康状態を保護者と共有しています。保育中に子どもの健康状態に変化があった場合には、37.5℃を目安に保護者に一報しています。
- ・園内で感染症が発生した場合は、玄関に感染症の名称と、発生したクラス、罹患した人数を掲示して注意喚起をしています。
- ・「衛生管理指導マニュアル」を整備しています。衛生係が年1回、嘔吐処理の対応方法などの内部研修を行っていますが、衛生管理指導マニュアルの内容を全職員で共有するための研修を定期的実施するなどの取り組みが望まれます。
- ・「安全マニュアル」や「防災マニュアル」を整備し、毎月避難訓練を実施しています。地震や火災に対応した訓練をいくつかの時間帯で実施しています。広域避難場所に行く訓練や、保護者の協力を得て、緊急時引き取り訓練や伝言ダイヤル使用の訓練なども行っています。

- ・医務室に「緊急時の通報」「緊急時の最寄り医療機関案内」「119番の覚え書」などを掲示し、緊急時に速やかに対応できるよう職員に周知しています。入園時に保護者の緊急連絡先を把握しています。
- ・年2回、不審者対策の訓練を実施しています。防犯カメラを複数設置して、セキュリティ会社と提携しています。園内に緊急通報体制を掲示し、散歩の際には防犯ブザーや携帯電話を持っていません。

#### 4、地域との交流・連携

- ・一時保育や交流保育を実施しています。一時保育を利用する子どもは各クラスの活動に入っています。
- ・地域住民に向けて講習会や研修会を開催するまでには至っていません。
- ・園の情報を、青葉区役所や地域子育て支援拠点などに提供しています。
- ・一時保育の利用者や見学者などから受けた相談には応じていますが、定期的に相談日を設けるまでには至っていません。
- ・散歩に出かけた際などに、子どもと職員は近隣の人々に挨拶をしています。通行人やお店の人から手を振ってもらったりする場面もありました。
- ・5歳児クラスの子どもたちは、近隣保育園の5歳児クラスの子どもたちと、計画的に交流しています。
- ・横浜市や青葉区のホームページや、外部団体のホームページを通して、園の情報を外部に提供しています。
- ・「ボランティア・保育実習・保育体験に参加する皆様へ」を用意し、ボランティアや保育体験、実習生の受け入れの際には、注意事項を説明しています。
- ・卒園児の小学生ボランティア、中高生の保育体験を積極的に受け入れています。
- ・地域の高齢者グループが来園し、4、5歳児クラスを対象に昔ばなしなどの読み聞かせをしています。
- ・実習生に対しては、実習の種類や目的などを考慮し、効果的な実習となるよう工夫しています。

#### 5、運営上の透明性の確保と継続性


- ・職員一人一人の自己評価における反省点などを職員会議で話し合い、保育所としての自己評価としてまとめています。評価結果をファイルし、保護者が閲覧できるようにしています。
- ・職員倫理規定を定め、守るべき法・規範・倫理などを全職員に周知しています。
- ・他施設での不正・不適切な事例を入手した場合は、職員会議で報告し、啓発しています。
- ・ゴミの分別をしています。古紙を子どもたちの折り紙や自由画の素材としたり、段ボールなどの空き箱を自由工作に使ったり、リサイクルに取り組んでいます。また、職員は、牛乳パックなどで入れ物やおもちゃなどを作ったり、古いタオルや古新聞を雑巾や汚物処理に使ったりしています。
- ・無駄な照明をこまめに消したり、空調温度を適正に保ったり、省エネルギーに取り組んでいます。また、朝顔やゴーヤーを育てグリーンカーテンをつくるなど、省エネ・緑化にも取り組んでいます。
- ・ペットボトルキャップの回収をしていることや、餅つき大会では自宅からお椀や箸を持参して欲しいことなどを掲示し保護者に周知しています。
- ・園長は、朝夕の送迎時に保護者とコミュニケーションをとるようにしています。また、保護者会（「みどりの仲間」）の役員や、運営委員会（保護者代表も参加）で、意見交換しています。
- ・主任は、日々現場に出て個々の職員の業務状況を確認しているほか、クラス日誌などからも把握しています。また、勤務シフトを作成する際に、一人一人の職員が精神的・肉体的に良好な状態で業務を遂行できるようにしています、さらに、その日の職員の状況やクラス活動の様子などを把握し、適切な人員配置となるよう配慮しています。
- ・事業運営に影響のある情報は、青葉区園長会や、近隣保育園グループの会合などから得ています。重要な情報は、幹部職員間で議論するほか、適宜、職員会議などで一般職員にも知らせています。
- ・毎年、職員会議で園長が活動計画を説明し改善課題に取り組んでいます。中期計画を作成しています。

## 6、職員の資質向上の促進


- ・人材育成計画を定めています。一人一人の職員が、毎年度初めに自己目標を設定し、年度末に、どこまで達成できたか振り返りをしています。
- ・職員は、横浜市や青葉区などが行う研修に参加しています。参加した職員は、研修報告書を作成、職員会議で発表し、全職員が情報を共有できるようにしています。
- ・外部研修・園内研修とも参加する非常勤職員は、ほとんどいないのが現状です。非常勤職員が外部研修や園内研修に参加できる体制を構築することが期待されます。
- ・園長や職員が、他園の工夫した良い事例を入手した場合は、職員会議や園内研修で取り上げています。
- ・職員一人一人が、園で定めた自己評価票の各項目について、毎年度末に評価しています。自己評価は、計画で意図したねらいと関連付けて行い、子どもの意欲や取り組む姿勢がどうであったかななどを重視して行っています。
- ・主任・副主任・リーダー・分野別リーダーなど、経験・能力や習熟度に応じた役割の期待水準を明文化しています。
- ・日常の保育や保護者との対応など、クラスの担当者が責任を持って対応するようにしています。判断に迷ったときなどは、主任や園長に連絡・相談するように指導しています。
- ・会議の場だけでなく、いつでも主任や園長に、改善提案や意見を述べるができるようにしています。また、気づき報告書に記入して提出することもできます。



## 分類別評価結果

- ※ 横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。
- ※  ←「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。  
3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある
- ※ 評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域Ⅰ 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p><b>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</b></p>  <p>(1)保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2)保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念は、「人生でもっとも大切な乳幼児期を健康で幸せに過ごせる園＝私は愛されていると子どもたち皆が感じられる保育園にします。一人ひとりの個性、特性を認め心に寄り添った保育を実践します。生きる力を育みながら成長していける保育を目指します。」です。理念に基づき、保育方針を「一人ひとりのこどもの心に寄り添う保育」としています。保育目標は「1. 丈夫な身体 2. やさしい心 3. チャレンジする力」です。</li> <li>・年度初めの職員会議で、園長が、保育理念・保育方針・保育目標を説明しているほか、さまざまな会議の場で確認しています。</li> <li>・保育課程は、保育理念・保育方針・保育目標を踏まえ、子どもの最善の利益を第一義にし、作成しています。年度初めのクラス懇談会で、保育課程及び年間指導計画を保護者に配付しています。</li> <li>・保育課程に基づき、年齢ごとに、年間指導計画・月間指導計画・週案を作成しています。指導計画は、子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるよう配慮し作成しています。子どもの様子や状況に応じて、その日の活動を変更したり、週案・月間指導計画を見直したりするなど、柔軟に対応しています。</li> <li>・職員は、日々の保育の中で、子どもの態度・表情・仕草などから、興味や関心を汲み取るようにしています。また、言葉で自分の思いを伝えることができる子どもからは、丁寧に聞き取るようにしています。</li> </ul>

## I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- (1)入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。
- (2)新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。
- (3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

- ・入園説明会の後、保護者と個別面談しています。個別面談の際に、面談票に、入園までの生育歴や家庭での状況などを記入してもらい、それを確認しながら保育士および栄養士が詳しく聞き取っています。保護者から提出された資料や面談時の記録は、鍵のかかる書架に保管しています。
- ・短縮保育（ならし保育）は、保護者と話し合い、個別に対応しています。
- ・0・1歳の新入園児に対して、特定の保育士の方が子どもが安心してできると判断した場合は、個別に対応していますが、全員に対して個別に主担当保育士を決めるには至っていません。
- ・0～5歳児のすべてのクラスで、個別の育児日誌（連絡帳）を用い、保護者との丁寧な情報交換をしています。
- ・子どもの発達や状況に応じて、月間指導計画・週案をクラスごとに作成・評価・見直しを行っています。評価・見直しは、クラス担当の複数職員が参画しているほか、職員会議でも話し合っています。

## I-3 快適な施設環境の確保



- (1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。
- (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。



- ・当番表に基づき、毎日、掃除や消毒をし、屋内・外とも清潔に保たれています。
- ・各保育室に、加湿機能付き空気清浄機を設置しています。冷暖房機により、適切な温度となるようにしています。
- ・どの保育室も、陽光を十分に取り入れることができる構造となっています。
- ・0歳児保育室の隣りに、沐浴設備を備えています。2階に、入浴室があり温水シャワーがあるほか、屋上園庭にも温水シャワーを備えています。
- ・パーティションを用いたり、マットを敷いたりしてコーナーを作るなど、小グループでの活動ができるよう保育室の使い方を工夫しています。
- ・2～5歳児クラスは、食事を2階の遊戯室（ホール）で摂っています。また、遊戯室（ホール）は、誕生会やクリスマス会（発表会）など、異年齢児間交流の場ともなっています。
- ・保護者アンケートでは、「2階の子どものトイレに仕切りが欲しい」という意見があります。1階保育室の4・5歳児が2階のトイレを使うこともあるので、子どもの発達に応じた構造とすることが望まれます。

## I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- (1)子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。
- (2)子ども一人一人の発達の過程に応じた


- ・乳児は、毎月個別指導計画を作成しています。幼児は、特に配慮や支援が必要な子どもについて、個別指導計画を作成しています。
- ・個別指導計画は、定期的な見直し以外にも、子どもの状況に大きな変化などがあった場合には、月の途中でも変更・見直しをしています。
- ・子どもや家庭の個別の状況・要望などを決められた書式に記録しています。
- ・入園後の子どもの成長発達の様子を、成長記録として記載しています。子どもの記録は、鍵のついた書架に保管し、全職員が必要

<p>対応をし、その記録があるか。</p>	<p>などに見ることができるようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進級時には、重要な申し送り事項を書面で伝えていきます。年度末には、新年度準備の日を設け、新旧担任間で十分に話し合う時間を設けています。</li> <li>・年度末には、クラスごとに1年間の活動をまとめた思い出のアルバムを手作りして配布するほか、卒園児には手作りの卒園証「よいこの証」を渡すなど、一人一人の子どもに園生活の思い出が残るようにしています。</li> </ul>
<p><b>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</b></p>  <p>(1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。</p> <p>(2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p> <p>(3)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p> <p>(4)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。</p> <p>(5)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に配慮や支援を要する子どもについて、職員会議で話し合い、記録しています。</li> <li>・職員は、特に配慮を要する子どもや障がいのある子どもの保育に関する研修に参加しています。参加した職員は、研修報告書を作成、職員会議で発表し、全職員が情報を共有できるようにしています。</li> <li>・障がいの特性を考慮した個別支援計画を作成しています。保護者の同意を得て、地域療育センターあおばや、青葉区福祉保健センターから、助言や情報を得ることができる体制があります。</li> <li>・虐待の防止に関するマニュアルを作成しています。虐待の定義を記載し、全職員に周知しています。</li> <li>・虐待が明白になった場合や虐待が心配される場合は、青葉区福祉保健センターに通告・連絡し、連携して取り組むことにしています。</li> <li>・職員は、朝夕の送迎時に、積極的に保護者と会話をするようにしています。気になることがあれば、主任や園長に連絡することになっています。</li> <li>・アレルギー疾患のある子どもの場合、医師からの「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」に基づき、保護者と話し合い、適切な対応をしています。</li> <li>・食物アレルギー対応マニュアルを定め、必要な知識や情報を全職員に周知しています。除去食を提供する場合は、専用トレイを用い、名札を付け、ラップで覆っています。乳製品アレルギー児の場合は、ほかの子どもたちとは別のテーブル席で摂るようにしています。</li> <li>・文化（言語・表現・食事）や生活習慣、考え方の違いを認め、尊重しています。宗教上の理由などで制限すべき食材がある場合は、保護者にも献立表をチェックしてもらい、除去食または代替食を提供しています。</li> <li>・保育室内に世界地図を掲示したり、地球儀を置いたりするとともに、絵本読み聞かせやお話の中で、さまざま国や地域があることを子どもたちが知る機会をつくっています。</li> </ul>
<p><b>I-6 苦情解決体制</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情解決のための規定を定めています。苦情受付担当者は主任、苦情解決責任者は園長であることや、第三者委員に直接苦情を申し立てできることを、重要事項説明書に記載し、保護者に周知しているほか、園内にも掲示しています。</li> </ul>

(1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。  
 (2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

- ・園の玄関に意見箱を設置しています。また、クラス懇談会や保護者会「みどりの仲間」の役員会や運営委員会（保護者代表も参加）でも要望や苦情を聞いています。行事後には、アンケートを行っています。
- ・要望・苦情があったときは、職員会議で報告し、職員に周知し、迅速に対応できるようにしています。
- ・外部の権利擁護機関があることを保護者に知らせていません。青葉区福祉保健センターや横浜市福祉調整委員会などに、直接苦情申し立てできることを、重要事項説明書に記載するなどの工夫が望まれます。

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ－1 保育内容[遊び]</p>  <p>(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。            (2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。            (3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。            (4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。            (5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。            (6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全てのクラスで絵本棚を設置しています。子どもが絵本を自分で取り出していつでも見ることができるようになっています。クラスごとに子どもが直接手に取って遊べる玩具や素材の種類を調整しています。その日の活動や子どもの要望にあわせて、その都度玩具を取り出しているクラスもあります。</li> <li>・保育室は、0、1歳児クラス、2歳児クラス、3歳児クラス、4、5歳児クラスの4つの空間を用意しています。0、1歳児クラスは、一つの空間を柵で2つに分けて、それぞれ発達に合った活動を行っています。4、5歳児クラスは合同で活動しています。3歳児クラス以上は机と椅子を設置しており、お絵描きや絵本読みなどをいつでもできるようにしています。</li> <li>・一斉活動やルールのある遊びとして、リトミックやごっこ遊び、ゲーム、縄跳び、ボール遊び、プール遊びなどを年齢や発達に合わせて取り入れています。散歩に行く際や公園で遊ぶ前には、保育士が子どもたちに約束事を説明してから開始していました。</li> <li>・自由遊びの中で一人一人が興味・関心を持って遊べるように援助しています。公園の池に氷が張っているかどうか見に行くなど、季節感のある遊びも行っています。子どもたち一人一人に氷を手渡し、子どもたちは氷を触ってみたり、大きさを比べたりしていました。氷越しに見る風景がいつもと少し違うことに驚いたり、氷を足で踏んで音を楽しむなど、それぞれが関心を持って遊んでいました。</li> <li>・ナスやピーマン、トマト、キュウリ、オクラなどの夏野菜を栽培しています。苦手意識を持ちやすい野菜を栽培することで、採れたての野菜のおいしさを味わうことができるようにしています。また、カエルを数年飼育しており、子どもたちはみんなで一緒に餌となる虫を探しています。季節に応じてカブトムシやクワガタも飼育しています。</li> <li>・子どもの年齢や発達状況にあわせて自由に表現ができるよう、リトミックや歌、製作などを行っています。リトミックは全クラスで行</li> </ul>

っていて、クラス別の時と他クラスと合同の時があり、身体全体を使って自由に表現できるようにしています。また、リトミックはクリスマス会（発表会）で保護者にも披露しています。

- ・4、5 歳児クラスでは、週 1 回英語教室を行っています。外部の専門講師を招いていて、ネイティブの講師と日本人講師が関り、子どもたちは英語に親しんでいます。年 1 回参観日を設けて保護者が英語教室を見学できるようにしています。
- ・異年齢の子ども同士が関わりを持てるように、さまざまな機会を用意しています。朝夕や土曜日は、異年齢の合同の保育時間となっています。日中の活動では、異年齢のクラス合同で散歩に行く機会を多くしています。午睡前には 5 歳児クラスの子どもが各クラスの午睡準備や子どもたちの着替え、寝かしつけを手伝っています。また、月 1 回、全園児が集まる誕生会を行っています。
- ・3 歳児クラスから外部の専門講師による体操教室を行っています。体操教室は、自分の身体を安全に使えるようすることをねらいに、跳び箱やマット運動、鉄棒、平均台、組み体操、長縄飛び、ボール遊びなどを行っています。ホールや屋上のほか、公園も利用していて、年 1 回参観日を設けて保護者が見学できるようにしています。
- ・日常の遊びの中で、散歩の距離を徐々に延ばしたり、公園にある斜面を登って探検するなど、楽しみながら運動能力を高められるようにしています。

## II - 1 保育内容[生活]



- (7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。
- (8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。
- (9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。
- (10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。
- (11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。
- (12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

- ・今年度の食育目標を「みんなでたのしくいっしょにたべる」として、楽しい食事時間となるようにしています。
- ・クラスごとの年間指導計画に食育の項目を設けています。1 年を 4 期に分けて、0 歳児クラスから発達に合った食育計画を立てています。2 歳児クラスから、園で採れた夏野菜を調理するなどクッキングを楽しんでいます。5 歳児クラスでは栄養士による「食育の時間」を設けています。食事のマナーや旬の食材、食べ物と身体、クッキングなど毎月テーマを設けて実施しています。
- ・献立は栄養士が作成しています。旬の野菜を多く入れること、出汁をしっかりとること、顎の発達を意識した献立になるよう工夫しています。
- ・食文化の伝承を意識した行事食を提供しています。七草粥を提供する前には、子どもたちに七草を見せるなど、興味が湧くようにしています。誕生日会の日の献立は祝い膳を意識してちらし寿司とヨーグルトサラダを提供しています。
- ・「給食日誌」に検食者の意見を記録しています。日常の中では保育士と意見交換をしたり、栄養士が子どもの食事の様子を見たりして、調理方法に反映させています。毎月、給食会議を行い給食について話し合っています。
- ・園の玄関で、当日の給食の写真をデジタルフォトフレームのスライドショーで流しています。献立の写真だけでなく、子どもたちが楽しく食べている表情を園長が写真に収めて、お迎えに来た保護者が園の食事に興味を持てるようにしています。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して心地よい眠りにつくことができるように、カーテンで光の調節を行っています。午睡前には、子どもたちに絵本を読んで気持ちを落ち着かせたり、オルゴールの音を流したり、抱っこをしたり、トントンして、入眠に向けた雰囲気作りをしています。</li> <li>・乳幼児突然死症候群の対策として、0歳児クラスでは5分おきに呼吸チェックを行い、記録に残しています。満2歳までは10分おきに実施しています。</li> <li>・5歳児クラスの午睡については、10月くらいから減らしていくこととしています。午睡をしないときは、鉛筆の持ち方を覚えたり、テキストを用いて文字や数字を学ぶなど、就学に向けた準備をしています。</li> <li>・園では、子どもが排尿時に濡れた感覚が分かるように、布オムツを使用しています。トイレトレーニングは、排尿の間隔があいてくる時期を見定めて、家庭と連携しながら個別に進めています。</li> </ul>
<p>Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p>  <p>(1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p> <p>(2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。</p> <p>(3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「登降園確認表」を用いて、登園前と保育中の子どもの健康状態を保護者と共有しています。保育中に子どもの健康状態に変化があった場合には、37.5℃を目安に保護者に一報しています。食欲や下痢、嘔吐など子どもの状況を総合的に判断して、迎えをお願いするなどしています。</li> <li>・歯磨き指導について、歯が生え始めてから実施しています。1歳児クラスでは、「歯を磨きましょう」を歌い、楽しく習慣づけをしました。</li> <li>・身体測定の結果は、保護者との連絡帳「いくじにっし」のなかに「成長記録」を挟んで保護者に知らせています。健康診断の結果は「いくじにっし」に記入して伝え、口頭で補足しています。歯科健診の結果は、歯科医の報告書を保護者に渡しています。</li> <li>・園内で感染症が発生した場合は、玄関に感染症の名称と、発生したクラス、罹患した人数を掲示して注意喚起をしています。</li> </ul>
<p>Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p>  <p>(4)衛生管理が適切に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「衛生管理指導マニュアル」を整備しています。調理室では、調理に従事をする職員の健康チェックを毎日行っています。保育室では適宜玩具の消毒を行っています。</li> <li>・衛生係が年1回、嘔吐処理の対応方法などの内部研修を行っていますが、衛生管理指導マニュアルの内容を全職員で共有するための研修を定期的実施するなどの取り組みが望まれます。</li> <li>・用務担当の職員が、共用部分の清掃をしています。保育士による清掃は、分担を決めて実施しています。棚の上に備品が積み重なっているクラスもありますので、マニュアルに基づいてチェックリストを作るなどして、整理整頓を行うことが期待されます。</li> </ul>
<p>Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p>  <p>(5)安全管理に関するマニュアルがあ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「安全マニュアル」や「防災マニュアル」を整備し、毎月避難訓練を実施しています。地震や火災に対応した訓練をいくつかの時間帯で実施しています。広域避難場所に行く訓練や、保護者の協力を得て、緊急時引き取り訓練や伝言ダイヤル使用の訓練なども行っています。</li> <li>・地震等を想定し、棚に突っ張り棒をしたり耐震マットを敷くなど転</li> </ul>

り、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。

(6) 事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。

(7) 外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

倒防止に向けた安全対策を行っています。

- ・ 医務室に「緊急時の通報」「緊急時の最寄り医療機関案内」「119番の覚え書」などを掲示し、緊急時に速やかに対応できるよう職員に周知しています。入園時に保護者の緊急連絡先を把握しています。また、保護者会を通して、緊急時に連絡を取りやすい携帯電話のメールアドレスを登録するように促しています。
- ・ 年2回、不審者対策の訓練を実施しています。防犯カメラを複数設置して、セキュリティ会社と提携しています。園内に緊急通報体制を掲示し、散歩の際には防犯ブザーや携帯電話を持っていきます。

## II-3 人権の尊重



- (1) 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2) 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3) 個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4) 性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・ 子どもに対して威圧的な言葉遣いや無視が行われないように、職員間で注意するほか、園長が現場で直接指導しています。
- ・ 必要に応じて、子どもに威圧感を与えず一対一で話し合える場所として、廊下や医務室などを使用しています。
- ・ 個人情報の取り扱いや守秘義務について、入職時に職員に伝えています。写真撮影のルールなどは、職員会議などで都度周知しています。実習生やボランティア等には、書面を用意してオリエンテーションの際に説明しています。
- ・ 遊びや行事の役割、持ち物の色、服装などで性別による区別をしていません。

## II-4 保護者との交流・連携





- (1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3) 保護者の相談に応じているか。
- (4) 保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。
- (5) 保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。
- (6) 保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

- ・ 入園のしおりに、保育理念、保育目標、保育方針を明記し、保護者に周知しています。クラス懇談会や保護者会の役員会では、保育目標や保育方針、指導計画を、分かりやすい表現にして説明しています。
- ・ 連絡帳「いくじにっし」を用いて保護者と情報交換をしています。0歳児クラスでは、定型のフォーマットに基づいた内容を書き入れ、家庭と保育の連続性を意識したものになっています。全園児が連絡帳「いくじにっし」を持っており、幼児クラスについても、家庭と園の子どもの様子を毎日丁寧に共有しています。
- ・ 定期的な個別面談は、3歳児クラス以上の子どもの保護者を対象に年2回行っています。乳児クラスでは、希望者を対象に実施しています。
- ・ 年3回実施するクラス懇談会を通じて、保育内容やクラスの様子について情報提供を行っています。
- ・ 他の人に聞かれることなく保護者が相談できるように、事務室や医務室、空いている保育室などを利用できるように配慮しています。
- ・ 園だより、クラスだより、給食だより、献立表を毎月発行しています。園だよりには、園全体のお知らせのほか、その月に誕生日を迎える子どもたちの成長の様子も掲載しています。クラスだよりは手書きで、クラスの様子や子どもの個々の様子、行事のお知らせ、

感染症の予防などを掲載しています。




- ・行事や季節ごとの子どもの活動の写真を玄関前の階段に掲示し、最新の情報が保護者に伝わるように努力しています。誕生日会や運動会をビデオに撮って、希望者に貸し出せるように保護者会の協力を得ています。クリスマス会の映像は外部業者を通じて販売しています。
- ・日常の保育を見学できる保育参観を年1回実施しています。その他に、体操教室と英語教室の参観を実施しています。また、保護者の要望に応じて、保育参加を随時受け入れています。親子で参加できる行事として、夕涼み会、ファミリー祭(保護者会のバザー)、運動会、もちつき大会、クリスマス会などがあります。
- ・「みどりの仲間」という保護者会があり、積極的に活動しています。役員や図書委員、ビデオ委員、ファミリー祭実行委員で役割を分担し、組織的な活動となっています。土曜や夕方に、空いている保育室を使って活動しています。

### 評価領域Ⅲ 地域支援機能




評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <p>(1)地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。 (2)地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・一時保育や交流保育の利用者などから、地域の子育て支援ニーズを把握しています。保護者の求職に伴う0、1、2歳児の保育ニーズが高いことを把握しています。</li><li>・地域の子育てを支援するためのサービスとして、一時保育や交流保育を実施しています。一時保育のニーズは高く、毎年160回位行っています。一時保育を利用する子どもは各クラスの活動に入っています。</li><li>・地域住民に向けて講習会や研修会を開催するまでには至っていません。</li></ul>
<p>Ⅲ-2 保育所の専門性を活かした相談機能</p>  <p>(1)地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。 (2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・園の情報を、青葉区役所や地域子育て支援拠点などに提供しています。地域子育て支援拠点には、交流保育に関するチラシを置かせてもらっています。</li><li>・一時保育の利用者や見学者などから受けた相談には応じていますが、定期的に相談日を設けるまでには至っていません。</li><li>・青葉区役所保健師や地域療育センターあおば、嘱託医、歯科医、近隣の保育園、横浜市北部児童相談所等、速やかに連絡をとることができるようになっています。</li></ul>





## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</b></p>  <p>(1)保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。            (2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリー祭に、一時保育の利用者等を誘っていて、在園児と一緒に工作などを楽しめるようにしています。</li> <li>・近隣との友好的な関係を築くため、近所で買い物をしたり、餅つき大会の後には餅を配ったりしています。煙が出ることを考慮して、焼き芋をする前には事前に近隣に知らせるようにしています。自治会にも加入しています。</li> <li>・散歩に出かけた際などに、子どもと職員は近隣の人々に挨拶をしています。通行人やお店の人から手を振ってもらったりする場面もありました。</li> <li>・5歳児クラスの子どもたちは、近隣保育園の5歳児クラスの子どもたちと、計画的に交流しています。</li> </ul>
<p><b>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</b></p>  <p>(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。            (2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市や青葉区のホームページや、外部団体のホームページを通して、園の情報を外部に提供しています。</li> <li>・一年を通して見学者を受け入れています。見学日時は話し合っていて決まっていますが、午前中の園の様子を見てもらうことを推奨しています。一回2組を上限に、10時から1時間かけて案内するようにしています。</li> </ul>
<p><b>Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ</b></p>  <p>(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。            (2)実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ボランティア・保育実習・保育体験に参加する皆様へ」を用意し、ボランティアや保育体験、実習生の受け入れの際には、注意事項を説明しています。</li> <li>・卒園児の小学生ボランティア、中高生の保育体験を積極的に受け入れています。</li> <li>・地域の高齢者グループが来園し、4、5歳児クラスを対象に昔ばなしなどの読み聞かせをしています。行事計画表等に掲載して保護者にも知らせしています。</li> <li>・実習生は、保育士養成校から年間2名程度受け入れています。実習の種類や目的、希望によって担当するクラスを考慮するなど、効果的な実習が行われるための工夫をしています。</li> </ul>

## 評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-1 職員の人材育成</b></p>  <p>(1)保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。            (2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。            (3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成計画を定めています。一人一人の職員が、毎年度初めに自己目標を設定し、年度末に、どこまで達成できたか振り返りをしています。</li> <li>・職員は、横浜市や青葉区などが行う研修に参加しています。参加した職員は、研修報告書を作成、職員会議で発表し、全職員が情報を共有できるようにしています。</li> <li>・外部研修・園内研修とも参加する非常勤職員は、ほとんどいないのが現状です。非常勤職員が外部研修や園内研修に参加できる体制を構築することが期待されます。</li> <li>・非常勤職員の指導は、主任・副主任が担当し、良好なコミュニケーションが図られるようにしています。また、業務マニュアルは事務室に備えてあり、非常勤職員も見ることができるようにし、必要な場合は、コピーして自分の手元に置くことができますようにしています。</li> </ul>
<p><b>V-2 職員の技術の向上</b></p>  <p>(1)職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。            (2)保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。            (3)保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長や職員が、他園の工夫した良い事例を入手した場合は、職員会議や園内研修で取り上げ、検討しています。</li> <li>・地域療育センターあおばから、特に配慮を要する子どもや障がいのある子どもの保育に関し、指導や助言を受けています。</li> <li>・職員一人一人が、園で定めた自己評価票の各項目について、毎年度末に評価しています。自己評価は、計画で意図したねらいと関連付けて行い、子どもの意欲や取り組む姿勢がどうであったかなどを重視して行っています。</li> <li>・自己評価の結果を、次年度の自己目標設定に反映するとともに、保育の指導計画の作成にも活かしています。</li> <li>・職員一人一人の自己評価における反省点などを職員会議で話し合い、保育所としての自己評価としてまとめています。評価結果をファイルし、保護者が閲覧できるようにしています。</li> </ul>
<p><b>V-3 職員のモチベーションの維持</b></p>  <p>(1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任・副主任・リーダー・分野別リーダーなど、経験・能力や習熟度に応じた役割の期待水準を明文化しています。</li> <li>・日常の保育や保護者との対応など、クラスの担当者が責任を持って対応するようにしています。判断に迷ったときなどは、主任や園長に連絡・相談するように指導しています。</li> <li>・会議の場だけでなく、いつでも主任や園長に、改善提案や意見を述べるができるようにしています。また、気づき報告書に記入して提出することもできます。</li> <li>・園長は、年1回、一人一人の職員と個別面談し、職員の満足度・要望などを聞いています。</li> </ul>

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>VI-1 経営における社会的責任</b></p>  <p>(1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員倫理規定を定め、守るべき法・規範・倫理などを全職員に周知しています。</li> <li>・特定非営利活動法人としての活動報告書を横浜市に提出し、職員には開示しています。保護者から要求があれば閲覧できるようにしています。</li> <li>・他施設での不正・不適切な事例を入手した場合は、職員会議で報告し、啓発しています。また、新聞記事のコピーを回覧することもあります。</li> <li>・ゴミの分別をしています。古紙を子どもたちの折り紙や自由画の素材としたり、段ボールなどの空き箱を自由工作に使ったり、リサイクルに取り組んでいます。また、職員は、牛乳パックなどで入れ物やおもちゃなどを作ったり、古いタオルや古新聞を雑巾や汚物処理に使ったりしています。</li> <li>・無駄な照明をこまめに消したり、空調温度を適正に保ったり、省エネルギーに取り組んでいます。また、朝顔やゴーヤーを育てグリーンカーテンをつくるなど、省エネ・緑化にも取り組んでいます。</li> <li>・ペットボトルキャップの回収をしていることや、餅つき大会では自宅からお椀や箸を持参して欲しいことなどを掲示し保護者に周知しています。</li> </ul>
<p><b>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</b></p>  <p>(1)保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2)重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3)主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念・保育方針・保育目標を、園内に掲示しています。年度初めの職員会議で、園長が、保育理念・保育方針・保育目標を説明しているほか、さまざまな会議の場でも触れています。</li> <li>・園長は、職員との個別面談の際に、保育理念・保育方針・保育目標などを職員が理解しているかどうかを確認しています。</li> <li>・園長は、朝夕の送迎時に保護者とコミュニケーションをとるようにしています。また、保護者会（「みどりの仲間」）の役員や、運営委員会（保護者代表も参加）で、意見交換しています。</li> <li>・重要な事項が決定されたときは、職員会議で目的・決定理由・経過などを説明しています。保護者には、掲示や保護者会を通じて知らせています。</li> <li>・リーダー・分野別リーダー・副主任などを経験させたり、横浜市が行う研修に参加させたりして、主任クラスを計画的に育成する体制を取り入れています。</li> <li>・主任は、日々現場に出て個々の職員の業務状況を確認しているほか、クラス日誌などからも把握しています。一人一人の職員の能力や経験に合わせ、的確な指導や助言を行っています。</li> <li>・主任は、勤務シフトを作成する際に、一人一人の職員が精神的・肉体的に良好な状態で業務を遂行できるようにしています。また、その日の職員の状況やクラス活動の様子などを把握し、適切な人員配置となるよう配慮しています。</li> </ul>

### VI-3 効率的な運営



(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。

(2)保育所運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

- ・事業運営に影響のある情報は、青葉区園長会や、近隣保育園グループの会合などから得ています。重要な情報は、幹部職員間で議論するほか、適宜、職員会議などで一般職員にも知らせています。
- ・毎年、職員会議で園長が活動計画を説明し、改善課題に取り組んでいます。
- ・中期計画を作成しています。
- ・運営に関し、会計士や社会福祉士などの意見を取り入れるようにしています。

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2017年11月27日～12月8日
- 2、実施方法 ①保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。  
②各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 67.4%（46枚配付、31枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス…7人、1歳児クラス…4人、2歳児クラス…7人、3歳児クラス…5人、  
4歳児クラス…6人、5歳児クラス…2人、無回答…0人

※ 同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

### ◆まとめ

- ・【問1】「園の保育目標や保育方針」について、回答した保護者の90%が、「良く知っている」「まあ知っている」と答え、そのうちの全保護者が、保育目標や保育方針について、「賛同できる」「まあ賛同できる」と答えています。
- ・【問2】「入園する時の状況」の設問6項目では、「満足」の回答は50～60%台です。「不満」「どちらかといえば不満」の回答が他の項目に比べ高くなっているのは“費用やきまりに関する説明”の項目です。
- ・【問3】～【問7】の設問で、31項目中、「満足」の回答が高かった項目を5つ挙げると、次の通りです。  
(5位は同率で、3項目)  
問4「日常の保育内容（生活）」“給食の献立内容”……………87.1%  
問4「同 上」“基本的生活習慣の自立へ向けての取り組み”……………83.9%  
問4「日常の保育内容（遊び）」“クラスの活動や遊び”……………83.9%  
問4「日常の保育内容（生活）」“昼寝や休憩が子どもの状況に応じて対応されているか”……………80.6%  
問4「同 上」“子どもの体調への気配り”……………77.4%  
問4「日常の保育内容（遊び）」“子どもが戸外遊びを十分しているか”……………77.4%  
問7「職員の対応」“子どもが保育園生活を楽しんでるか”……………77.4%
- ・【問3】～【問7】の設問で、31項目中、「不満」「どちらかといえば不満」の回答が10%を越えているのは、次の4項目です。  
問5「保育園の快適さや安全対策」“施設設備について”……………41.9%  
問5「同 上」“外部からの不審者侵入を防ぐ対策”……………19.4%  
問6「園と保護者との連携・交流」“送り迎えの際の子どもの様子に関する情報交換”……………16.1%  
問5「保育園の快適さや安全対策」“子どもが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか”……………12.9%
- ・【問8】「総合満足度」は、100%です。（「満足」90.3%、「どちらかといえば満足」9.7%）
- ・自由記述欄には、「戸外遊びが十分にある」「楽しく遊べる方法を教えてもらっている。想像力が育っている」「家では食べないものも、園では完食です」「先生方は、きめ細やかに対応してくださっている」など、感謝の言葉がある一方で、「設備が老朽化し、改修で良くなってきているが、続けて取り組んで欲しい」「セキュリティの面で不安を感じる」「2階の子どもトイレに仕切りが欲しい」などの意見があります。

## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

実施期間：2017年11月27日～12月8日

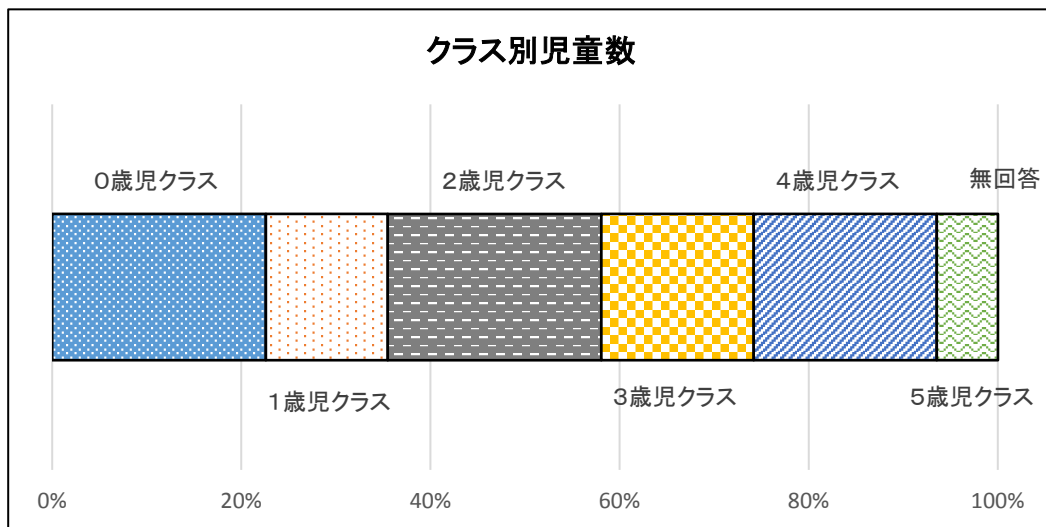
回収率：67.4%（回収31枚／配付46枚）

### 【属性】

クラス別児童数 (人)

合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
31	7	4	7	5	6	2	0

※同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入

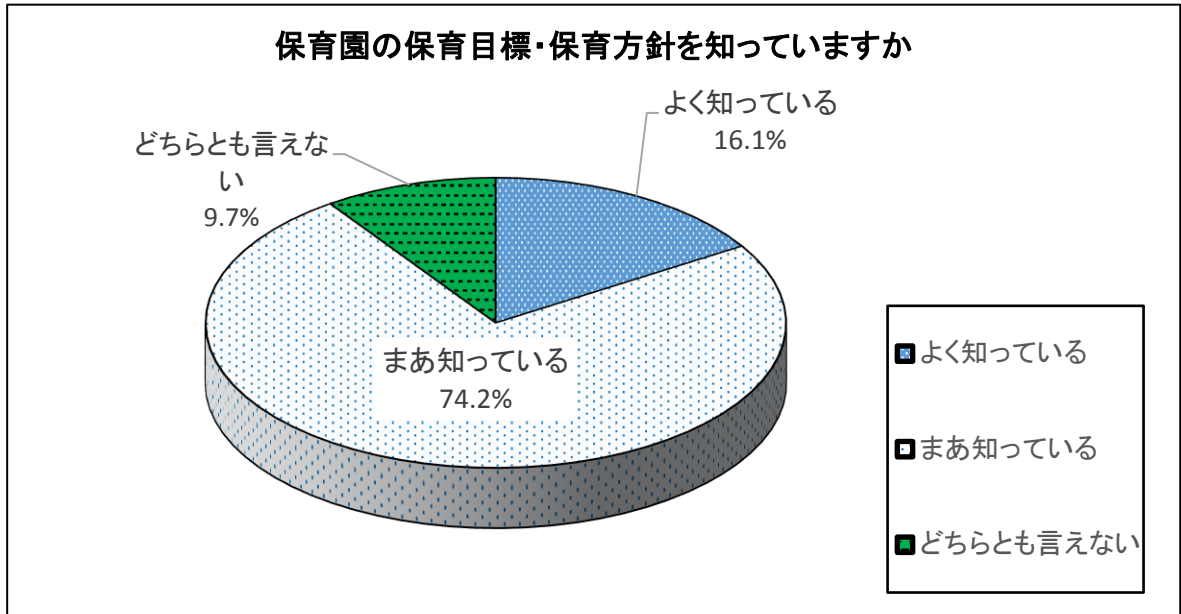


## ■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 保育園の保育目標・保育方針を知っていますか。

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	16.1%	74.2%	9.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

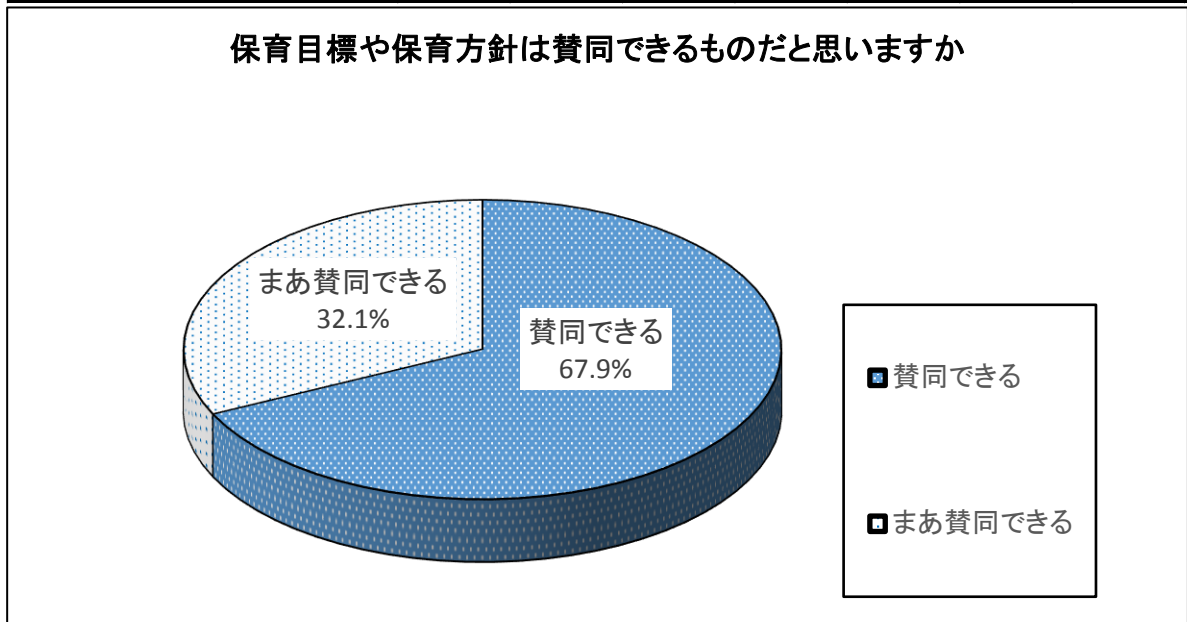
(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)



「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1 その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	67.9%	32.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

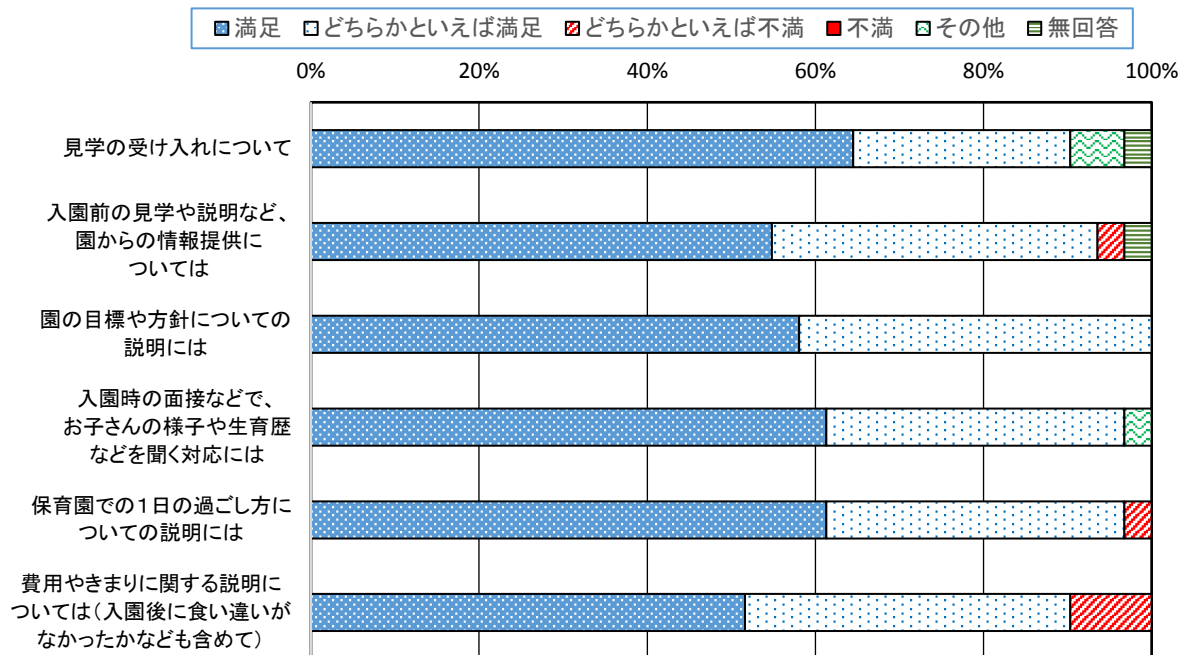


■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	64.5%	25.8%	0.0%	0.0%	6.5%	3.2%	100.0%
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	54.8%	38.7%	3.2%	0.0%	0.0%	3.2%	100.0%
園の目標や方針についての説明には	58.1%	41.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	61.3%	35.5%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	100.0%
保育園での1日の過ごし方についての説明には	61.3%	35.5%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	51.6%	38.7%	9.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

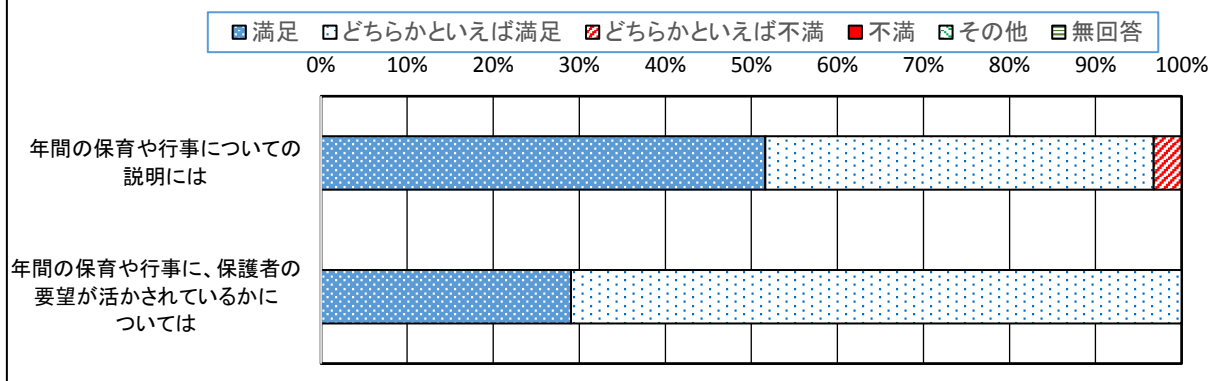
入園時の状況について



問3 保育園に関する年間の計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	51.6%	45.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	29.0%	71.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

年間の計画について



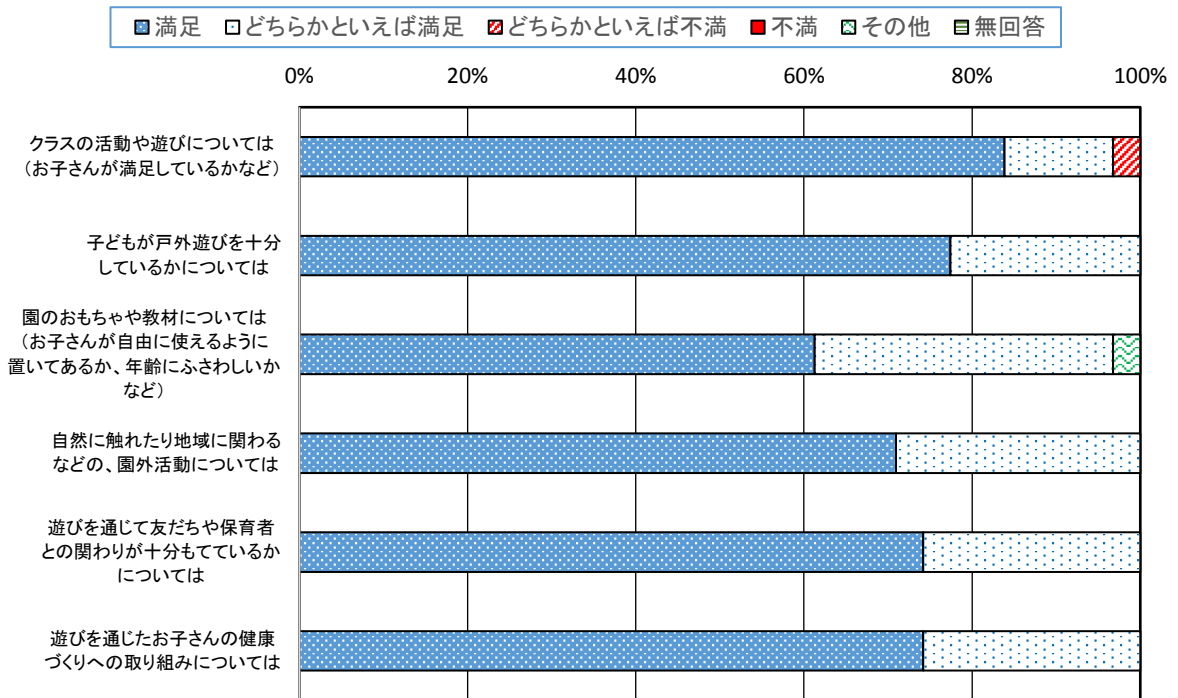


問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

●「遊び」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	83.9%	12.9%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	77.4%	22.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	61.3%	35.5%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	100.0%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	71.0%	29.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	74.2%	25.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	74.2%	25.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

日常の保育内容「遊び」について

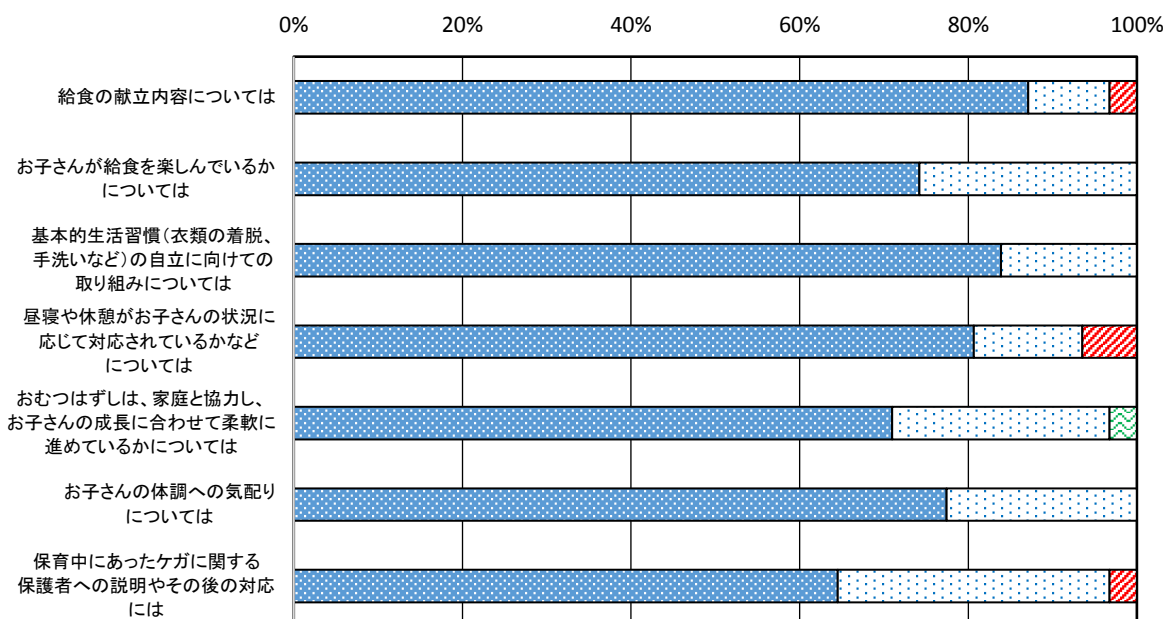


●「生活」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	87.1%	9.7%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	74.2%	25.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	83.9%	16.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
屋寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	80.6%	12.9%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	71.0%	25.8%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	100.0%
お子さんの体調への気配りについては	77.4%	22.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	64.5%	32.3%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

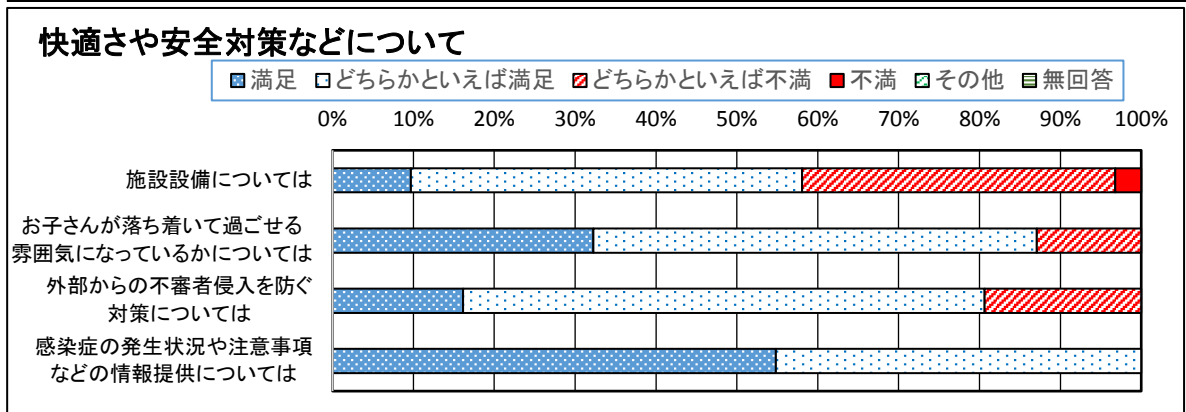
日常の保育内容「生活」について

■満足 □どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 □その他 □無回答



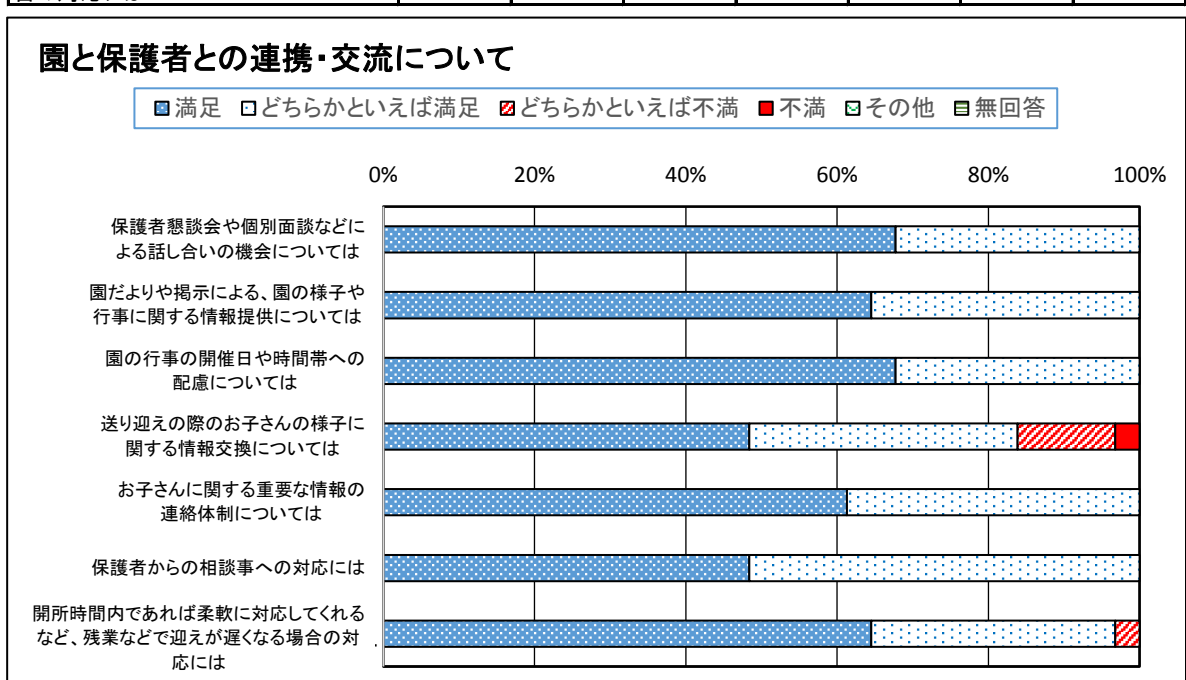
問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	9.7%	48.4%	38.7%	3.2%	0.0%	0.0%	100.0%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	32.3%	54.8%	12.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	16.1%	64.5%	19.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	54.8%	45.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



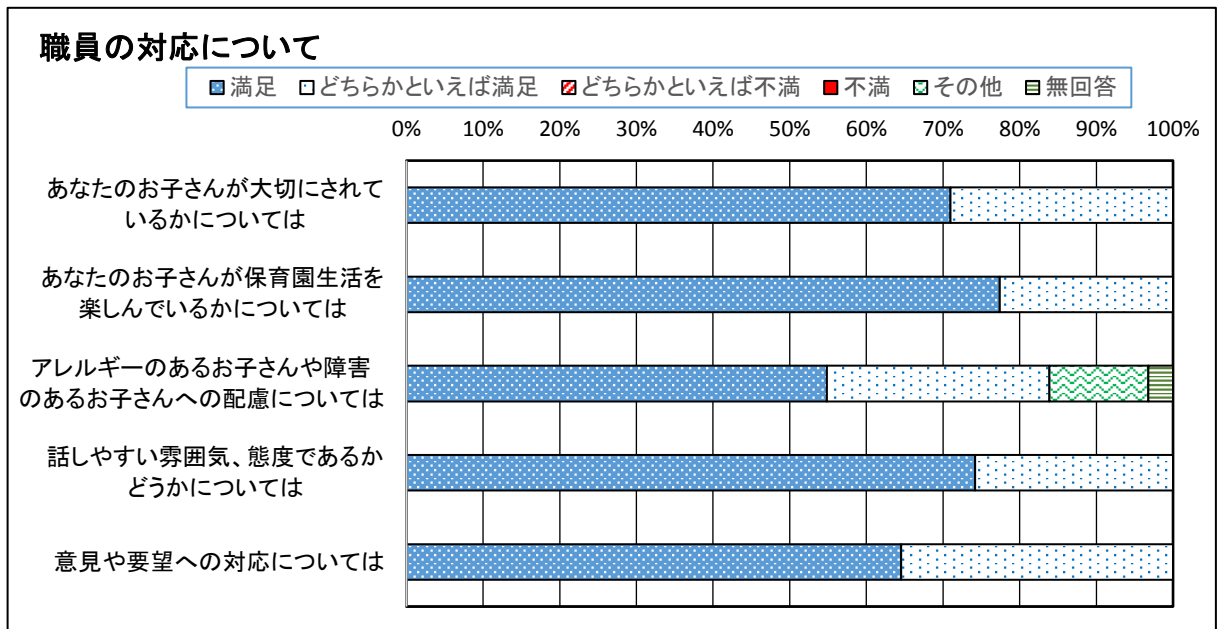
問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	67.7%	32.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	64.5%	35.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	67.7%	32.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	48.4%	35.5%	12.9%	3.2%	0.0%	0.0%	100.0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	61.3%	38.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保護者からの相談事への対応には	48.4%	51.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	64.5%	32.3%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



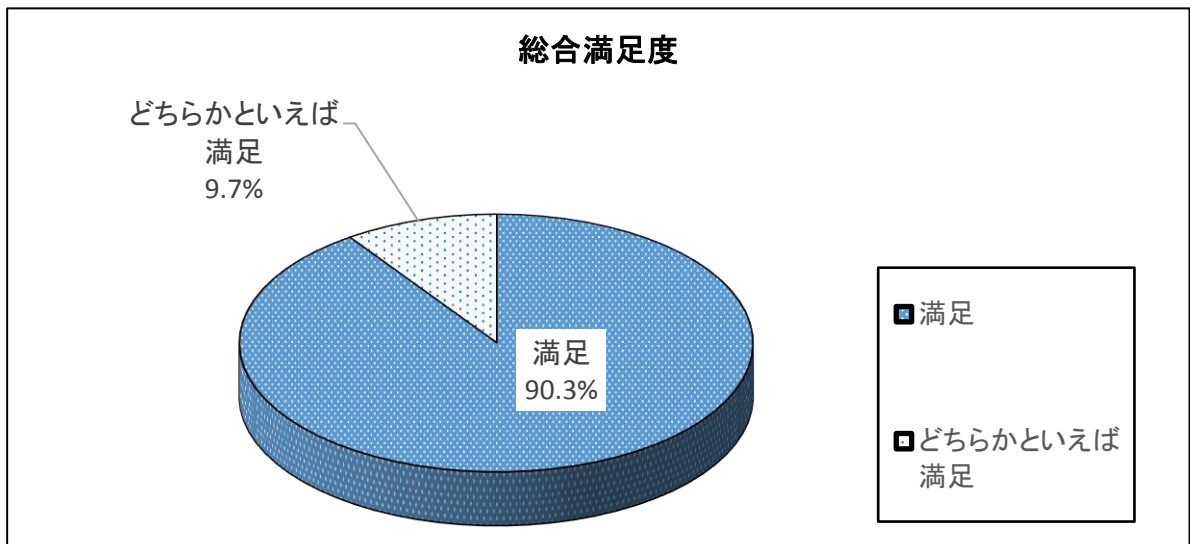
問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	71.0%	29.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	77.4%	22.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	54.8%	29.0%	0.0%	0.0%	12.9%	3.2%	100.0%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	74.2%	25.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
意見や要望への対応については	64.5%	35.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	90.3%	9.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



## 利用者（園児）本人調査 分析

◆ 観察調査 ①1月11日（木）9：00～12：30 ②1月16日（火）9：00～12：30

※ 観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

### ◆ 0歳児クラス

朝の時間、子どもたちは順番におむつ替えをしてもらいます。おむつ替えの順番を待つ間、子どもたちは保育士に抱っこしてもらったり、カーペットの上で、小さなボールを転がして遊んだり、小さなプラスチックのコップを積み重ねたりして遊んでいました。木製のパズルをはめ込んで遊んでいる子どももいます。おやつの時間になると、離乳食の段階にあわせて、牛乳を飲むグループとお茶を飲むグループに分かれて、保育士に飲ませてもらいました。奥の布団で眠っている子どももいます。

園全体の誕生会には、肘がついた椅子に座り一緒に参加しました。誕生会の後は、保育室に戻り、這い這いや歩いて競争するゲームをしたり、その場ジャンプで身体を回したりしていました。

食事の前には絵本を読んでもらい、食事はほとんどの子どもがスプーンで介助してもらっていました。食事の後にも絵本を読んでもらいました。お昼寝の際には、保育士が優しくトントンをして眠りを誘っていました。5歳児クラスの子どもがやってきて、同じようにトントンしてあげる姿も見られました。

### ◆ 1歳児クラス

朝の自由時間、子どもたちはボールや木の機関車などのおもちゃで遊んでいました。ほとんどの子どもがスポンジマットの上で遊んでいます。おやつの前には、石鹸を使って手を洗いました。朝の歌を歌い、保育士が一人ずつ子どもの名前を呼ぶと、子どもは「はい」と手を上げます。保育士は「じょうず」と褒めていました。おやつの歌の後、牛乳の入ったコップを配ってもらって飲みました。飲み終わると、保育士から、手をたたいて褒めてもらいました。その後、絵本を読み全員でトイレに行きました。トイレに一人ずつ座ってみます。トイレの後にはズボンを履きやすいようにセットし、足先だけ入れてあげると、子どもは自分でズボンを引っ張り上げるようにしています。

「変身列車」「ロケット」など保育士の掛け声に応じて、活発に身体を動かした後は、紙芝居を見ました。誕生会に参加し、戻ってきてから、音楽に合わせて、みんなで踊ったり、ピクニックごっこをしました。トイレに行った後にはブロック遊びをします。高く積み上げることができると「すごい」と褒めたり、「これ何色？」など、子どもに聞いたりしていました。その後は、またトイレに誘い、歌を歌ってから食事の時間です。

子どもたちはスプーンを使い、頑張って口に運んでいました。おかわりをする子どもも多くいます。食後は歯磨きの歌を歌い、子どもたちは保育士の見本を見て、自分で磨こうとしていました。

パジャマに着替えさせてもらい、トイレに行き、絵本を読んでもらった後、布団に入りました。就寝時には、5歳児クラスの子どもが手伝いにきていました。

### ◆ 2歳児クラス

朝の自由時間、保育士の周囲に子どもが集まって楽しそうに遊んでいます。毛糸のポンポンを、保育士が子どもたちの髪に結び、それを他のクラスの保育士が見て「可愛いねえ」など声をかけています。誕生会で使ったダンボールの杵と臼を使って餅つきごっこもしていました。

「にんじゃごっこでトイレにいけます」と保育士が言うと、子どもたちが一列になって指を胸の前に組んで「にんにん」と言いながら静かに歩いてトイレに行きました。ズボンを自分で穿こうとする子どもが多く、前後反対に穿いた子どもには、保育士が気付いて直していました。その後、絵本の読み聞かせをもらい、朝の会をして、お茶を飲んだ後に、公園に出かけました。

公園に着くと、リトミックなどをして身体を軽く動かしてから、「今度は探検しにいきまーす」という

保育士の掛け声で、池の方に向かいました。保育士が池に張った氷を手にとって、子どもたちに順番に渡します。子どもたちは、その感触を楽しんだり、大きさを比べたり、氷越しに周りの景色を見たり、踏んで氷が割れる音を聞いたりして、この季節ならではの遊びを楽しみました。公園には急な斜面があり、怖がる子どもには保育士が一人付いて励まし、斜面を登ったり降りたりできたことを褒めながら関わっていました。

食事時間は、子どもの食欲がわくような言葉をかけたり、スプーンを下から持つように声をかけたりしていました。おかわりをする子どももいます。食後は歯磨きの絵カードを見せて、順序良く自分で磨けるように声をかけていました。

### ◆ 3 歳児クラス

朝の自由時間には、カーペットのところで木のレールをつなげて機関車や電車のおもちゃを走らせて遊んでいました。保育士が「針が12になったら、お片付け」と伝えると、子どもたちはレールやおもちゃを箱にしまい、自分で椅子を持ってきてピアノの前に並べました。

「鬼は外、福は内」「きらきら星」「朝の歌」などを歌い、当番の子どもが挨拶をしました。当番の子どもが、子どもたち一人一人の名前を呼び、出欠を取りました。保育士は「お茶」「トイレ」「さんぽ」などの絵カードを掲げ、子どもたちに今日の予定を伝えます。トイレを済ませ、散歩に出発しました。

信号のある交差点では、手を上げて横断歩道を渡っていました。白い線の内側を歩くことや、信号の無い十字路では、「右を見て、左を見て、車が来ないことを見てから渡る」「車の音が聞こえないから、お口チャック」と伝え、左右を確認させるなど安全の意識を高めるような声かけをしていました。

公園では、氷おにをしたり、すべり台で遊びました。鉄棒に足をかけてぶら下がる子どももいます。砂場では園から持ってきたコップやバケツ、公園の枝を使い、砂遊びを楽しみました。帰り道では、地域の方々に手を振ってもらったり、「帰ってきたの」など声をかけてもらっています。

食事の前には、ご飯茶碗・汁椀・おかず皿・コップの位置を示した厚紙を自分の前に置き、食器の置き場所を自然に覚えられるようにしていました。当番の合図で「いただきます」をしました。ほとんどの子どもが完食をして、茶碗に残った米粒を一粒残さずきれいに食べている子どもの姿がありました。

### ◆ 4、5 歳児クラス

朝の時間は、2～5名くらいの小グループに分かれて好きな遊びをしています。紙の筒を作って遊んだり、画用紙を丸く切ってお金を作ったり、棚から色鉛筆と紙を出して塗り絵をしたりしています。牛乳パックにガムテープをつけてみたり、自分の鍵盤ハーモニカを出してキラキラ星を弾く子どももいます。机をよけながら、室内を走り回る子どもには、保育士が「ねえ、走らないの。いけないことです」など声をかけ、ロッカーの陰の目が届かない場所で遊んでいる子どもには、「ここはいけません。先生のいるところにいて下さい」などと適宜注意していました。

片付けを終えると、子どもたちがマットの上に座りました。幼児向けの教育本を用いて、犬猫クイズをしました。「長く走るのが得意なのは犬猫どっち？」と保育士が聞くと、「犬！」と口々に子どもたちが答え、「答えは犬でしたー」という保育士の声に「わーいあたってー」など楽しそうな歓声が上がります。

誕生日会の後は、クリスマス会の衣装撮影を順番に行いました。撮影を待つ間は自由遊びの時間です。保育士が、床にマットを敷いて押入れからブロックを2種類出しました。子どもたちはそのブロックで遊んだり、机で絵本を読んだり、午前の自由遊びの続きとして、画用紙を丸く切ってお金を作るなどしています。

食事の前には当番がみんなの前に出て、メニューを紹介しました。食事の時間はとても賑やかで、子ども同士の会話が盛んでした。5歳児クラスの子どもたちは、食後の片付けをし、年下の子どもたちの午睡準備を手伝っていました。各クラスに入り、布団のセッティングをしたり、着替えの手伝いをしたり、心地よく入眠できるようにトントンをしていました。

## ◆ 誕生会

全クラスが集まり、1月の誕生会を行いました。担当の保育士2名が全員の前に出て、手遊びをした後に「あけましておめでとうございます」とお正月の挨拶をしました。

次に、パネルシアターを用いておせち料理の種類をクイズ形式で聞いていきます。主に4、5歳児クラスが回答していました。保育士が「これ何か知っている？」と料理の絵を出すと、「くろまめ～」などと子どもたちが答えます。「くろまめは、まめに働けるように」「数の子はニシンの卵で、子孫繁栄のため」など、カードに書いてある由来を、指名された子どもが読んでいきます。「なます」を知っている子どもがいて、「すごーい！」と歓声が挙がりました。

今月誕生日の子どもが前に出て、主任が子どもを順番に紹介していきます。紹介するときには、その子どもの好きなことや最近出来るようになったことも一言添えていました。今月誕生日の子どもは、バケツや折り紙、鉛筆などのプレゼントを受け取りました。

続いて、羽子板、けん玉、独楽、ビニールの凧など、正月遊びのおもちゃの実物を見せて遊び方を紹介していきます。ダンボール製の獅子頭を保育士が巧みに動かし、子どもたちの頭をかんでいくと、子どもたちが歓声を上げました。ダンボール製の杵と臼を使った餅つきでは、餅をつくまねをすると、餅のかわりにビニールテープに付いた保育士の顔写真が次々出てくるという楽しい仕掛けがありました。福笑いも盛り上がりました。

## 事業者コメント

今回2回目の第三者評価を受審しました。説明会は1人でも多くの職員が集まれる日時を設定しました。それでも全職員が揃うことは難しく、参加した職員が参加出来なかった職員に伝える形を取りました。

自己評価は対象となる職員全員が係わり、日勤保育士（常勤・パート）を中心とした会議で2つのグループに分かれてそれぞれの評価を照らし合わせ、異なる評価に関しては更に意見を出し合いました。少数の意見に耳を傾け、気付きを受け止めるようにしました。何回かのグループ会議を経て最終的に2つのグループの結果を1つにまとめあげました。すでにここまでの作業の間に複数の職員から幾つもの課題が挙げられ、出来るところから一つ一つ改善に向けての取り組みが始まりました。評価の結果より自分たちで気付き、改善し、向上していくことが第三者評価の価値と受け止めています。1月の訪問から1ヶ月半がたちました。来年度の計画作成にあたり、今回の気付きや評価、保護者アンケートから得た課題を反映しているところです。以前より自主的に意見を出したり、改善に取り組む現状があり、パート職員からの気付き報告も多くなりました。また、高く評価していただいた点はみんなで素直に喜び今後更に内容を充実させていきたいという思いが強くなっています。

職種や労働形態の異なる職員全体が、全ての情報を共有し理解することは難しいと思いますが、一人ひとりの努力でより良い方向に進めると考えています。今回頂いたアドバイスや情報を今後の保育園運営に生かし、来年度はステップアップ出来るよう全職員で頑張っていきたいと話しています。第三者評価受審でこれまで努力してきたこと、力不足だったところをしっかりと捉えることが出来ました。

みどり乳児園 園長 田中恵子



～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

●市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

●横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.lg.jp/kenkou/fukushi/>

●かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.knsyk.jp/search/3hyouka/index.html>



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0011 横浜市中区太田町4-49 NGS横濱馬車道802号室

TEL : 045-222-6539/6501 FAX : 045-222-6502 <http://www.shimin-sector.jp>

---